


H11A 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  H11A 取扱説明書

各部の名称



• モデルによってデザインが異なります。

受信結果を確認する

- この時計は、日本の標準電波を毎日午前 2 時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前 2 時に受信できなかったときは、午前 4 時に再度受信を試みます。

1. ① ボタンを押す

秒針が、受信結果 (「H」「M」「L」または「N(NO)») を指します。

表示	受信結果
H	非常に良い環境で電波を受信中または受信したとき
M	良い状態で電波を受信中または受信したとき
L	良くない状態で電波を受信中または受信したとき
N(NO)	受信に失敗したとき (手動で受信を行ってください)

- モデルによって、秒針の「先の部分」で指すものと「尾の部分」で指すものがあります。
- 「H」、「M」、「L」の表示は、受信環境の適性を示すもので、時計の受信性能には関係はありません。
- 受信結果を表示して 10 秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。① ボタンを押すと、すぐに戻ります。

手動で受信する (強制受信)

自動受信ができなかった場合に行います。

1. 窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に、時計を置く

- 時計の 9 時位置を電波送信所の方向に向けます。

2. ① ボタンを 2 秒間以上押す

- 秒針が「RX (R)」に停止したら、ボタンを離します。その後、受信が始まり、秒針が「H」、「M」、「L」に移動します。
- 受信中は時計を動かさないでください。(最大 15 分)
- 受信が完了すると、時刻表示に戻ります。

時差機能を使う

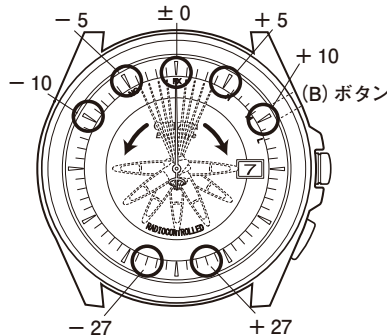
時差を設定することで、時刻合わせをすることなく、他の地域の時刻を表示させることができます。

- 現在の表示時刻を基準に、± 27 時間の範囲 (1 時間単位) で、時差を設定します。

1. ② ボタンを押す

秒針が現在の時差設定を指します。

2. りゅうずを回して、時差を設定する



- 秒針が 0 秒を指しているときに、時差 ± 0 です。

3. ② ボタンを押す

- 何も操作しないで 10 秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。

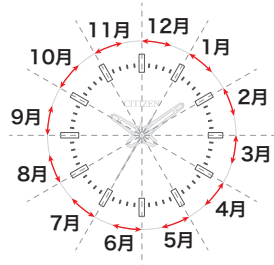
時刻を手動で合わせる

1. りゅうずの位置を **2** にする
秒針が 0 秒を指します。
2. りゅうずを回して、分を合わせる
・りゅうずを素早く回転させると、分針が連続して動きます。
りゅうずを少し回すと止まります。
3. **A** ボタンを押す
時針がわずかに動いて、時針が合わせられるようになります。
4. りゅうずを回して、時を合わせる
・りゅうずを素早く回転させると、時針が連続して動きます。
りゅうずを少し回すと止まります。
・日表示が切り替わったときが午前 0 時です。午前 / 午後を間違えないよう注意します。
5. 時報に合わせて、りゅうずの位置を **0** にする
秒針が動きはじめます。

カレンダーを手動で合わせる

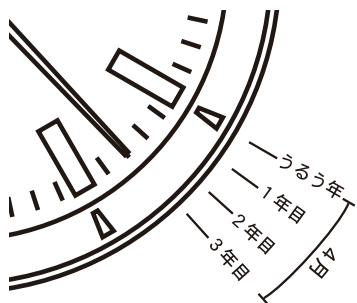
・この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2100 年 2 月 28 日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. りゅうずの位置を **1** にする
現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。
2. りゅうずを回して、日表示を合わせる
3. **A** ボタンを押す
年と月が合わせられるようになります。
・**A** ボタンを押すごとに、日表示と月 / 年とで、修正対象が切り替わり、日表示か秒針が動いて、修正対象を示します。
4. りゅうずを回して、月と年を合わせる
・月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



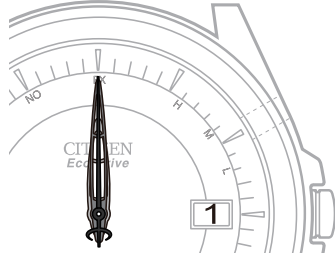
・年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。
うるう年からの経過年については、サポートの「仕様・機能・購入」から、うるう年経過年早見表をご参照ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

(例) 2015 年 4 月に合わせるときは
4 月 → 4 時の範囲
2015 年 → うるう年から 3 年目



5. りゅうずの位置を **0** にする
現在の時刻に戻ります。

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を **0** にする
 2. 秒針が高速で動き始めるまで、**B** ボタンを 5 秒間以上押し続ける
各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。
・正しい基準位置：
すべての針が 12 時位置、
日表示が「1」
- 
- 現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。
3. **B** ボタンを押す
時刻表示に戻ります。

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. 秒針が高速で動き始めるまで、**B** ボタンを 5 秒間以上押し続ける
各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。
3. りゅうずの位置を **2** にする
日表示の基準位置が合わせられるようになります。
4. りゅうずを回して、日表示を「1」に合わせる
・「1」が枠の中心に表示されるようにします。
・りゅうずを素早く回転させると、各針や日表示が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
5. **A** ボタンを押す
時針の基準位置が合わせられるようになります。
・**A** ボタンを押すごとに、「時針」⇒「分針と秒針」⇒「日表示」と切り替わります。修正対象が、左右に動きお知らせします。
6. りゅうずを回して、時針を正しい基準位置に合わせる
・りゅうずを素早く回転させると、時針が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
7. **A** ボタンを押す
分針と秒針の基準位置が合わせられるようになります。
8. りゅうずを回して、分針と秒針を正しい基準位置に合わせる
・りゅうずを素早く回転させると、分針と秒針が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
・秒針と分針は連動します。
9. りゅうずの位置を **0** にする
10. **B** ボタンを押す
各針と日表示が高速で時刻表示に戻ります。
・時刻表示がずれているときは、「手動で受信する」を行ってください。